

## 山田委員からのご意見

1. 有機性廃棄物をできるだけ埋め立てないことがGHG削減の観点から重要(関連の研究あり)。無処理で埋め立てるより焼却がベター。J-VER化を検討の際、考慮に入れるべき。
2. 市民が主体となるリユースの取組等を含めて、GHG削減の規模が小さいものであっても広くJ-VER化を推進すべき(家庭部門からのGHG排出量を考慮すると推進が重要)。
3. 循環資源から製品やエネルギーを生産することで得られるクレジットは、循環資源を収集・運搬・選別する活動にも分け与えられるべき。また、(検討されているような)固定された収集運搬～選別～資源化の流れの形成は、市場経済においてはリスクが大きい(容器包装プラスチックの例より明らか)。どの組み合わせであっても(どこからどこに運んでも)クレジットをシェアできる仕組み(ルール)作りが望まれる。